

第107回日本選手権・第39回U20日本選手権(2023/大阪)

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2023年度日本陸上競技連盟規則・競技会における広告及び展示物に関する規程及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所はメイン競技場南側のマラソングート付近に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピン・競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識(2枚)を受け取る。
 - ② 携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、TICに用意した「多種目同時出場届」に記入し、1種目目の招集時に招集所へ提出する。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。

3 競技者受付とアスリートビブスについて

- (1) 競技者受付を補助競技場正面玄関付近に設ける。
- (2) アスリートビブスは3枚配布する。(胸・背・手荷物用)
- (3) アスリートビブスとADカード・プログラムの配布については、次の時間帯に、競技者受付で行う。

・5月31日(水)	13:00~17:00	・6月1日(木)	8:20~18:00
・6月2日(金)	9:00~19:00	・6月3日(土)	7:40~17:00
・6月4日(日)	8:00~14:00		

4 競技場内への入場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンとPECR(ポスト・イベント・コントロール・ルーム)を通り退場する。なお、決勝において1~3位の競技者を、入賞者控室に誘導する。

5 競技の抽選、及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。決定されたレーン順・試技順は、各大会前日に日本陸連公式WEBサイトに掲載する。
- (2) シニアの日本選手権は欠場届を反映し、1日目は大会前々日、2日目以降は大会前日に番組編成を行う。スタートリストは各日の前日に公開する。
- (3) U20日本選手権の番組編成は1週間前に行い、WEBに掲載する。スタートリスト公開後に欠場届が提出されてもレーンの調整は行わない。
- (4) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ、及びそのレーン順は日本陸連公式WEBサイトに掲載する。
- (5) タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録がある場合は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。

6 競技について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ② 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走る。

(2) フィールド競技について

- ① 走幅跳は、すべて光波距離計測器を使用する。
- ② 跳躍、及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークルの外側に使用することができる。
- ③ 棒高跳の競技者は「棒高跳支柱移動届」をTICで受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。
- ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。
- ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ⑥ フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。

(3) 男子U20については下記の規格で競技を行う。下記以外は一般規格で競技を行う。

- ・男子110mH ハードルの高さ0.991m
- ・男子砲丸投 6.000kg
- ・男子円盤投 1.750kg
- ・ハンマー投 6.000kg

(4) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。また、競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。

(5) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない（競技規則TR25.19）。

(6) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

(7) 欠場する競技者は「欠場届」（TICにも用意）を次の要領で届けること。欠場者を除いて番組編成を行うため、必ず期日までに提出すること。届けずに欠場した者は、その後の本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない措置を講ずることがある。

欠場届ダウンロード→https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202305/18_230727.docx

- ① 大会1日目【6月1日(木)】の種目で欠場する場合は、5月30日(火)の12時まで
- ② 大会2日目【6月2日(金)】の種目で欠場する場合は、6月1日(木)の12時まで
- ③ 大会3日目【6月3日(土)】の種目で欠場する場合は、6月2日(金)の12時まで
- ④ 大会4日目【6月4日(日)】の種目で欠場する場合は、6月3日(土)の12時まで

《届け出先》

- ・大会2日前5月30日(火)までの欠場届はosaka2023ketsujo@jaaf.or.jpへメール提出
- ・大会前日5月31日(水)以降は会場TICもしくは、osaka2023ketsujo@jaaf.or.jpへメール提出

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。（ただし、天候等の状況により変更することもある。）

▼シニア日本選手権

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m29	2m32	2m35	2m37	2cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	1m86	1m88	1m90	2cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
棒高跳	男子	任意の 高さ	5m11	5m31	5m41	5m51	5m61	5m71	5m81	5m86	5m91	5cm
	女子	任意の 高さ	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m25	4m30	4m35	5cm

▼U20 日本選手権

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	1m90 2m00	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	2m14	2m17	2m20	2m22	2cm
	女子	1m55 1m70	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	1m82	1m84	2cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
棒高跳	男子	任意の 高さ	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m25	5m30	5m35	5m40	5cm
	女子	任意の 高さ	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	3m95	4m00	4m05	4m10	5cm

(2) 棒高跳の公式練習について

- ① 棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻以前には競技場所には入場できない。
- ② 公式練習はゴムバーで行う
- ③ 任意の高さ、及び棒高跳支柱の位置で試技順に2回行う。

8 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストに複数本ないもの（日本陸上競技連盟検定品に限る）は、持ち込みを一人2つまで認めるので、希望者は各招集完了時刻の2時間40分前から1時間40分前までに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」をTICに持参すること。（各日最初の投てき競技は受付開始時刻にTICが空いていないため、補助競技場開場時刻以降に検査受付を開始する。）受け付けた「投てき用具」については「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、すべての競技者が使用できなければならない。投てき用具は競技終了後にTICで「預かり証」を確認のうえ返却する。

9 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型スクリーンおよびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、TIC を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場

合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。

10 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う。
- (2) 表彰はジャージもしくはTシャツで行う。
- (3) 各種目の1位の競技者には、賞状とメダルとカップ (U20は賞状とメダル) を、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (4) 4位から8位までに入賞した競技者にはTICで賞状を渡す。
- (5) シニア日本選手権の最優秀選手男女各1名を表彰する。

11 ドーピングコントロールテストについて (シニアのみ対象、U20は検査対象外)

大会要項記載の内容を確認のこと。

12 競技場で着用できる衣類と持ち込める物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用する衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

アスリートキット

- (1) 競技用の衣類 (トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット
- 上衣 下衣 [それぞれ] *スポンサー名/ロゴは上下全く同じものでなければならない。

- ・製造会社名/ロゴ: 一箇所 40cm²まで (高さ5cm)
- ・スポンサー名/ロゴ: 一箇所 40cm²まで (高さ5cm)
- ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ:

上衣 前後 各一箇所 *長さは問わないが、高さは 前:5cm、後:4cmまで

下衣 一箇所 *長さは問わないが、高さは 5cmまで

*学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル (靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc)

- ・製造会社名/ロゴ: (一つに) 一箇所 6cm² (高さ3cm) まで
 - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ: 一箇所 6cm²まで
- *学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

個人の所有物およびアクセサリー

- (1) タオル バッグ

- ・製造会社名/ロゴ: 一箇所 40cm² (高さ5cm) まで
 - ・スポンサー名/ロゴ または 競技者名/個人者ハッシュタグ: 二箇所 40cm² (高さ5cm) まで
- *バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち一箇所を以下に変更できる

所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ: 一箇所

[所属団体名/ロゴ] 長さは問わないが高さは5cmまで

[学校名/ロゴ] 大きさの規制なし

- (2) 飲料ボトル

- ・ドリンクの提供者 または 製造会社 または アスリートスポンサー名/ロゴ: 二箇所 40cm² (高さ5cm) まで

*ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

13 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 競技者控所/休憩場所はメイン競技場バックスタンドコンコース及び、補助競技場を利用すること。
補助競技場において、シニア日本選手権出場チームはメインスタンド下1階の競技者控所(100m スタート側)を利用すること。U20 出場チームは2階スタンド裏コンコースを利用すること。
休憩場所/チーム陣地としてメイン競技場バックスタンドコンコースにも参加チームエリアを設ける。メイン競技場バックスタンドコンコースの陣地は6月1日(木)~4日(日)に入ることができ、観客入場時刻に合わせて開場する。補助競技場の開場時刻とは異なるため注意すること。
- (4) メイン競技場バックスタンド下の雨天練習場は練習時のみ使用すること。チーム陣地を雨天練習場に常設することは認めない。
- (5) 更衣室は補助競技場に設けるのでそちらを利用すること。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (6) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (7) 届けられた遺失物についてはTICで保管する。保管期間は競技会終了までとする。それ以降は日本陸上競技連盟事務局に連絡すること。
- (8) 記録は日本陸連公式WEBサイトの日本選手権大会ページに掲載する。
- (9) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (10) スタンドを含む競技場内での横断幕・応援用のぼり・旗等の固定は禁止する。また、応援において、まわりの観客の皆様へ応援グッズを配布することを禁止する。応援グッズに所属企業名(スポンサー名)の露出をすることを禁止する。(ただし、本大会スポンサーはその限りではない)
- (11) 送付された棒高跳用ポールの受け渡しは、TICで指示する。また、本連盟申込の棒高跳用ポールの配送料は、TICで支払うこと。
- (12) 競技者及びチームスタッフには、受付時に大会主催者申し合わせ事項により、ADカードが渡される。コーチADカードについては、参加者1名は2枚、2名から3名は3枚、4名から5名は4枚、6名から9名は5枚とし、以後参加者が5名増えるごとに1枚追加して配布する。選手コーチADカードで、メイン側観客席エリアに入場することはできない。ADカード使用者は、場内を移動する場合は必ずADカードが確認できるよう携帯する。オープン種目のコーチADは参加者1名につき1枚とする。
- (13) 提出書類は、次の通りとする。(用紙はTICに用意)

	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	T I C	招集完了時刻まで
2	多種目同時出場届	招集所	1種目目の招集時
3	投てき用具検査申請書	T I C	招集完了2時間前まで
4	棒高跳アップライト申告書	招集所	招集時
5	上訴申立書(預託金1万円)	T I C	競技規則TR8による
6	記録証明書	T I C	TIC 閉鎖時刻まで

- (14) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。

14 練習会場の使用について(練習会場注意事項)

- (1) 練習時間、練習種目については別紙練習会場計画を確認すること。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生し

た疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。

- (3) 練習に必要な用具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (4) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (5) 会場への入退場は、必ずADカードを明示する。また、コーチは会場において、常にADカードが確認できるように携帯する。
- (6) 大会1日目以降、雨天練習場を使用できる。(前日練習日に雨天の場合は前日も使用可) 競技役員の指示のもと、安全に十分留意し練習を行うこと。
 - ① 跳躍の助走練習・投てきの助走練習は禁止する。
 - ② 雨天練習場内は、スターティングブロック・ハードル・ミニハードル等の器具の持ち込み、使用は禁止する。
 - ③ スターティングブロック、ハードルの設置については競技日程及び天候等を考慮し競技役員が設置する。
- (7) 補助陸上競技場での練習は次の通りとする。
 - ① 補助陸上競技場開場時刻
 - ・5月31日(水) 13:00～
 - ・6月2日(金) 9:00～
 - ・6月4日(日) 8:00～
 - ・6月1日(木) 8:20～
 - ・6月3日(土) 7:40～
 - ② 5月31日(水) 15:00～17:00に補助競技場100mスタートエリアでスターター競技役員によるスタート練習を行うことができる。
 - ③ 競走路の使用は、原則として以下の通りとする。
 - ・1～2レーン:中長距離
 - ・3～7レーン:短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)
 - ・8～9レーン:400mハードル(第1曲走路からバックストレート、及び第2曲走路)
 - ・7～9レーン:100mハードル・110mハードル(ホームストレート)
 - ④ 跳躍種目・投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。記載された時間以外は認めない。担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。
 - ⑤ 投てき種目については練習時間が限られるため、練習一覧表を十分確認すること。また、投てき練習の際、必ず監督・コーチ立ち会いのもと安全に十分留意し行うこと。
 - ⑥ 補助陸上競技場インフィールド芝生内への立ち入りを禁止する。(投てき練習を除く)

補助競技場及び本競技場練習場の練習会場計画

		5月30日 (火)	5月31日 (水)	6月1日 (木)	6月2日 (金)	6月3日 (土)	6月4日 (日)
補助競技場	補助競技場内		13:00~17:00 (※15時~17時に大阪陸協スターターによる公式練習可能)	8:20~20:15	9:00~21:15	7:40~19:45 ※13:45~14:15までは1~2レーンを車いす専用の練習走路とします。	8:00~19:45
	トラック	1~2レーン:中・長距離					
		3~7レーン:短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)					
		8~9レーン:400mH(第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路)					
		7~9レーン:100mH, 110mH(ホームストレート) ※競技日程によってレーン数・高さを適宜変更します。					
	走幅跳 三段跳	練習可能	練習可能	練習可能	練習可能	練習可能	練習可能
	走高跳 (Aゾーン)	練習可能	練習可能			練習可能	練習可能
	砲丸投 (Bゾーン)	練習不可				練習可能	練習可能
	やり投 (Bゾーン)	男子15:00~17:00	練習可能時間13:15~18:00 U20男子13:40~14:40(優先) シニア男子15:40~16:40(優先) 女子の前日練習も可能	練習可能時間14:15~17:45 U20女子14:45~15:45(優先) シニア女子16:45~17:45(優先)			
	円盤投 (Bゾーン)	女子13:30~15:00	男子11:00~13:00 女子の投てき練習は招集後現地	ターン練習のみ 投てき練習は招集後現地			
ハンマー投 (Bゾーン)			女子11:00~12:30 男子12:30~14:00 上記以外はターン練習のみ	ターン練習のみ 投てき練習は招集後現地			
棒高跳 (水濠横)		女子のみ ピット解放13:00~16:00	ピット解放10:30~15:30	ピット解放8:30~			
屋内練習走路 (メイン競技場 バックスタンド下) ※第2コーナーのゲート外側 から中に入れます			※練習可能時間は補助競技場と同じです。器具の持ち込みはできません。 競技役員の指示に従って安全性に十分配慮してください。 屋内走路内に障地を取ることはできません。				
		5月30日 (火)	5月31日 (水)	6月1日 (木)	6月2日 (金)	6月3日 (土)	6月4日 (日)

※ 補助競技場 芝生内は、やり投・円盤投・ハンマー投げ以外の選手、コーチ以外の立ち入りを禁止します。

※ 投てき練習は、監督・コーチ付き添いのもと安全に配慮し行ってください。

※ 当日にある競技を優先とします。

※ 練習に際しては、練習会場係の指示に従ってください。

※ 補助競技場は、雷や豪雨等 悪天候の場合は使用を禁止することがあります。

第107回日本陸上競技選手権大会 主催者が用意する投てき用具リスト(2023年6月1日~4日)

器具	種別	メーカー	品名等	WA認証番号	規格等	数量	合計	
砲	男子(7.260kg)	NISHI	鉄製	I-99-0083	φ129.0mm	1	9	
			鉄製	I-99-0087	φ125.5mm	5		
			鉄製	I-16-0794	φ120.0mm	3		
	U20男子(6.000kg)	NISHI	鉄製	I-03-0292	φ117.0mm	6	6	
	丸	女子(4.000kg)	NISHI	鉄製	I-99-0084	φ109mm	3	7
鉄製				I-99-0089	φ103mm	4		
円	男子(2.000kg)	NISHI	スーパー	I-16-0779	Black/Red/Wwhite	2	7	
			スーパ°-ハイモ-メント	I-99-0078	Purple/Black/White	2		
		GILL	ヘ°-サ-FXカーボ°ン	I-08-0421	Gray	1		
		DENFI	ユルケ°ンシュルツ	I-99-0098	White/Yellow centre	2		
	U20男子(1.750kg)	NISHI	スーパー	I-03-0293	Black/Red/Wwhite	5	10	
			スーパ°-ハイモ-メント	I-07-0390	Purple/Black/White	5		
	盤	女子(1.000kg)	NISHI	スーパー	I-99-0086	Black/Red/Wwhite	1	8
				スーパ°-ハイモ-メント	I-02-0256	Purple/Black/White	3	
			GILL	ヘ°-サ-FXカーボ°ン2	I-08-0422	Gray	2	
			DENFI	ユルケ°ンシュルツ	I-99-0099	White/Yellow centre	2	
ハンマー	男子(7.260kg)	NISHI	タンク°ステン入り	I-99-0079	φ110mm	6	8	
			タンク°ステン入り	I-19-0943	φ110mm	2		
	U20男子(6.000kg)	NISHI	タンク°ステン入り	I-06-0360	φ105mm	6	6	
	女子(4.000kg)	NISHI	タ°クタイル	I-99-0080	φ95mm(青色)	6	9	
			タンク°ステン入り	I-14-0700	φ95mm(橙色)	3		
ヤリ	男子(800g)	NISHI	スーパー80m	I-01-0236	White	1	8	
			NORDIC	エケ°ライタ°-スチールflex6.1(steel)	I-99-0011	Red/white, red cord		1
			チャンピ°オンスチール	I-99-0012	Yellow	1		
			スーパ°-エリートスチール90m	I-99-0020	White	1		
			オービ°ットスチールflex6.6	I-99-0014	Blue/White	1		
		NEMETH	クラシック95m	I-09-0400	Violet/yellow/orange	1		
			クラシック90m	I-09-0100	Violet/yellow/green, violet cord	1		
	クラシック85m		I-09-0429	Violet/yellow/magenta, violet cord	1			
	女子(600g)	NISHI	スーパー70m	I-01-0235	Yellow	1	8	
			NORDIC	ダイアナ80	I-99-0018	Lilac/White		1
			スーパ°-エリートflex7.0	I-14-0715	White/Black	1		
			タ°イナスチールflex6.2	I-99-0018	Lilac/White Spiral	1		
		NEMETH	クラシック75m	I-99-0110	Green/Red	1		
クラシック80m			I-99-0102	Violet	1			
Gill	オッテ°ヘッド°ウインド°	I-14-0692	Gold	1				
	オッテ°テイルウインド°	I-14-0693	Violet/White	1				

大阪陸上競技協会技術部作成

- ① リストに無い若しくは1つしか無い規格のものにつき、ひとり2つまで検査に合格すれば(日本陸連検定品に限る)持ち込み器具の使用を認める。
- ② 検査は、該当競技種目の招集完了時刻2時間40分前から1時間40分前までの間に受けること。(時間厳守)
※ただし、各日最初の投てき競技は受付開始時刻にTICが空いていないため、補助競技場開場時刻以降に受付を開始する。
- ③ 希望者は「投てき器具検査申請書」を添えてTICへ提出し、合格者には「預かり証(引換券)」を発行する。
- ④ 合格器具は参加競技者の共有使用物として一括借り上げし、競技終了後「預かり証」と引き換えにTICで返却する。

会場マップ



会場情報

- A** 入場ゲート
- B** 退場ゲート
- C** インフォメーション/
チケット販売所・プログラム販売
- わくわくパーク** ※6/3(土)~4(日)

- D** 競技者受付
- E** TIC / 招集所
- F** アスリート席入口
- G** 屋内練習場入口

- H** プレスルーム
- I** 報道受付

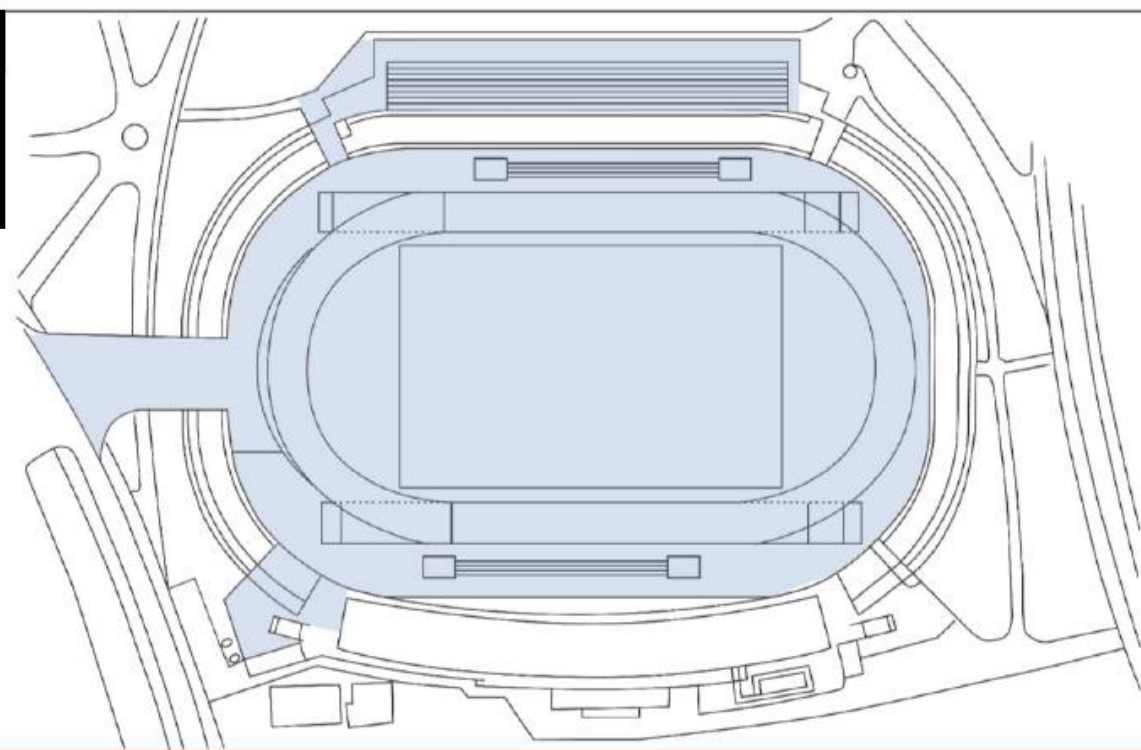
出展ブース

- 1** 山崎製パン株式会社
- 2** アシックスジャパン株式会社
- 3** 株式会社ニシスポーツ
- 4** 株式会社シミズオクト
- 5** 大阪市ブース

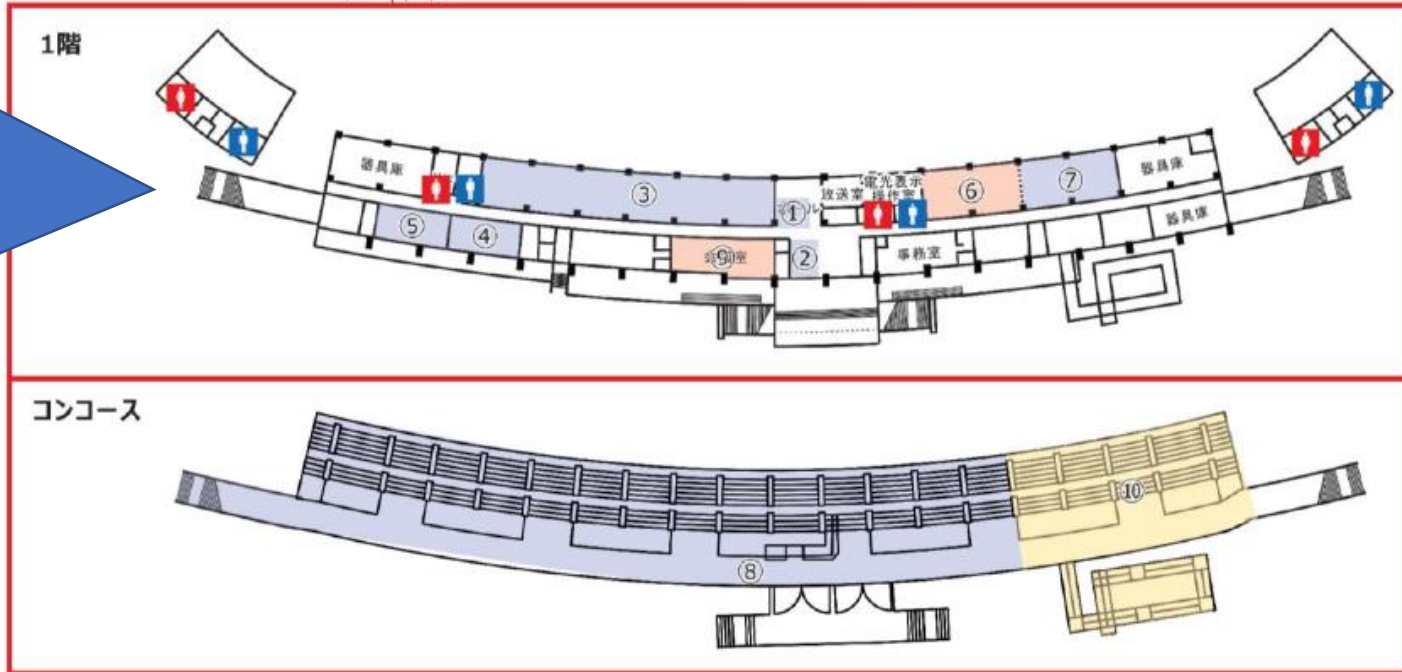
補助競技場 ヤンマーフィールド長居

競技者受付は、
補助競技場です。

サブトラの諸室内に
陣地を構えることが
できますが、場所に
限りがあります。
1階の諸室内はシニ
ア選手を優先してい
ただくよう願いま
す。コンコースも
陣地用に開放しま
す。



- 【エリア区分】
- アスリートエリア
 - オペレーションエリア
 - メディア・プレスエリア
 - プロードキャストエリア
 - スペクテーターエリア
 - ゲストエリア



No.	名称
①	競技者受付(日本選手権)
②	競技者受付(U20日本選手権)
③	競技者待機所(日本選手権)
④	男子更衣室
⑤	女子更衣室
⑥	競技役員控室
⑦	トレーナーステーション
⑧	競技者待機所(U20日本選手権)
⑨	強化委員会会議室
⑩	観戦エリア

メイン競技場 ヤンマースタジアム長居

選手コーチADカードで
C席には入ることが
できます。

選手コーチADカードではB
席以上のメイン側の座席に
は入れません。
チケットを購入いただけれ
ばメイン側に入れます。

バックスタンドコン
コースにも陣地を設営
できます。

